

入学を祝して



入学を祝して

歯学部長 前田 健康

平成19年度新入生の皆さん、厳しい受験競争を勝ち抜いて、新潟大学歯学部に入學おめでとうございます。昭和40（1965）年設立された新潟大学歯学部は、歯学科に加え、歯科衛生士と社会福祉士のダブルライセンスを取得可能な口腔生命福祉学科を有する創立42年を迎えた伝統ある国立大学歯学部であります。これから我々教員ともに、日々進歩する歯科医学、保健医療を学び、新潟大学歯学部の新しい歴史を築いていきましょう。

大学の最大の使命として、人材育成があります。新潟大学歯学部では、全人的医療を行うことのできる有能かつ感性豊かな歯科医師の育成、歯科医学発展のために指導的な人材および保健・医療・福祉に貢献する専門職業人の育成を教育目標としています。この教育目標達成するために、さまざまな工夫を凝らした教育課程が編成され、講義・実習の内容、学習計画を周知させる目的で、全学的にも高い評価を受けている詳細なシラバス（Syllabus）が準備されています。多くの教育情報が詰まっているシラバスを十分に活用してください。

小・中・高校では教師から与えられた教材をひたすら暗記・学習し、試験に臨むという受動的な学習形態でした。大学、特に医療を目指すものにとっては、問題を発見し、自ら学習し、問題を解決していくという学習形態（問題発見・解決型学習）が望まれます。これは赤ちゃんがお母さんから食べ物をもろう、いわゆる spoon feeding から、

自ら食材を見つけ、調理していく self-cooking に転換していくことにほかなりません。このような学習形態の転換のために、本学部では早くから Problem-based Learning (PBL) という学習方法を導入しています。イギリス19世紀の教育哲学者であるウィリアム・アーサー・ワードは「凡庸な教師はただしゃべる。二流の教師は説明をする。一流の教師は自らやってみる。超一流の教師は学生の心に火をつける。」と言っています。学生の心に火をつけるということは、知的好奇心を呼び起こすことです。これが教育者の使命であります。新潟大学歯学部の教育の主役は、教員ではなくて、君たち、学生諸君です。本学部の教育改善については高い評価を受け、昨年度文部科学省事業「特色ある大学院教育支援プログラム」（特色GP）に採択され、教育環境の整備、教育方法のさらなる改善に努めています (<http://www.dent.niigata-u.ac.jp/gp/>)。学生諸君も教育に対する要望、改善策を我々教員に提言し、教育改善とともに進めていきましょう。

教育の話ばかり致しましたが、20代前後のこの時期、勉強ばかりだけでなく、クラブ活動、ボランティア活動などさまざまな社会経験をし、歯学部以外にも多くの友人を作り、人間性を磨いてください。そして、将来に対する夢を持ち、社会の期待に応える医療人を目指し、これから充実した学生生活を送ってほしいと思います。



新潟大学歯学部入学おめでとう

新潟大学医歯学総合病院副院長 齊 藤 力

難関を突破され歯学部歯学科ならびに口腔生命福祉学科に入学された新入生の皆さん、入学おめでとうございます。新潟大学医歯学総合病院は未来の医療を担うべく全国から集まってきた諸君を心より歓迎いたします。

諸君が学ぶ新潟大学のキャンパスがあるこの新潟市は、平成19年4月1日より日本海側初の政令市となりました。新潟市は日本海、信濃川に囲まれた美しい水の都であり、美味しいお米や日本海の海の幸など食の宝庫であります。新潟市長の篠田昭氏によれば、「田園型政令市」と表現するのだそうです。しかしインターネット等の情報網の発達により情報量の地域格差はもはや無く、まさに学ぶには申し分のない環境でしょう。

諸君の大多数は歯科医師、歯科衛生士と社会福祉士などのプロフェッショナルになることを希望し、6年後あるいは4年後にライセンスを得ることを目標としていることだと思います。歯学部は学部の特性上、職業訓練所的なイメージが強いことは事実ですが、医学や歯学という科学を探究する場であります。医学、歯学の発達は急速で、諸君に求められる情報量は増大の一途をたどっており、とても暗記することだけでは対応しきれません。科学的発想を身につけることこそが大事であると思います。でも大丈夫、先輩を見てください。さりげなく？ 進級して卒業しているでしょう。新潟大学歯学部は、吟味に吟味を重ねた教育カリキュラムを用意していますから心配はいりません。

諸君の臨床教育の場となる医歯学総合病院は、医学・歯科医学が相互に連携した全人的医療、臨床教育、研究の実践を目指して平成15年に従来の医学部附属病院と歯学部附属病院を統合して誕生しました。早期臨床実習が1年次よりおこなわれますので、早い段階から本院で学ぶ機会がありま

す。また、より臨床に即した教育として歯学科では昨年度から臨床能力を客観的に評価するために開発された客観的臨床能力試験 (OSCE) を開始しました。さらに新潟大学歯学部の教育の特徴としては、学生が教員の指導のもとに実際に患者の治療に参加することがあげられます。全国的に臨床実習が見学中心になっている状況を見ると、とても恵まれた環境にあると言えます。

もちろん大学生活が知識や技術の習得に偏ってはいけません。大いに課外活動に励んでください。歯学部は定員が少ないため、とても狭いコミュニティになりがちです。部活動やサークル活動あるいは地域活動を通して多くの人と交流することが、きっと自分の人間性を磨くことにつながると思います。学生時代はなかなか地域の方と交流する機会が少ないかもしれませんが、新潟は“人”がいいですよ。新潟県人の“人の良さ”を実感できる私のお勧めスポットは白山の朝市です。白山の朝市は旭町キャンパスから程近い白山浦という場所で毎朝行われています。地元のおじちゃんやおばちゃんが新鮮な野菜や果物を世間話しながら売っています。良い医療人と聞いてどのような人を想像しますか？ 「高度な技術や知識の習得」は医療人に求められる当然の義務であり、それに加えて私たちに必要なのは「人間としての暖かさ」であると思います。多くの人と交流してそこから学ぶものは計り知れません。これからの6年あるいは4年間をどう過ごすかによって、諸君の将来は大きく変わることでしょう。未来の医療を担うのは諸君です。諸君のやる気にこたえられるよう、私たちは最大限の努力を惜しみません。迷うことがあればいつでも相談に来てください。共に夢の実現に向けてがんばりましょう。